

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	ブライダル知識ⅡA		
必修選択	必修	(学則表記)	ブライダル知識ⅡA		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ブライダルヘアメイク&ドレス科	2	30
使用教材	ブライダルコーディネーターテキストスタンダード		出版社	公益社団法人日本ブライダル文化振興協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	現場での実践に活かせるブライダルの基礎知識・用語・業界特性を理解・習得する				
到達目標	ブライダルコーディネーター技能検定3級合格を目指す ブライダルの基礎知識、用語を理解し使いこなせるようになる				
評価基準	テスト60% 小テスト(提出物)30% 授業態度10%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	ブライダルコーディネーター技能検定3級				
関連科目	ブライダル知識Ⅰ パーティプロデュース・ホテルプランニング・オリジナルプランニング				
備考	原則、この科目はオンデマンド型遠隔授業形式にて実施する				
担当教員	川崎 奈津子	実務経験	○		
実務内容	ウェディングプランナーとして結婚式場にて8年間勤務した実務経験を基に、ブライダル業界にて求められる知識・技術を教授する				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります。

各回の展開

回数	単元	内容
1	1年次振り返り 海外ウェディング・二次会	1年次振り返り 海外ウェディング、新婚旅行、二次会会場、1.5次会について理解する
2	コーディネーター業務 コーディネーターの役割	セールスと施行について理解する 担当制と分担制の違いについて学ぶ コーディネーターの当日の役割について理解する
3	新規業務 ホスピタリティ営業	カップルの動き、集客方法について知る ブライダル商品の特徴を知る
4	プランニング 成約業務	プランニング、プレゼンテーション方法を理解する 結婚式当日までの大まかな打ち合わせスケジュールを理解する 成約時にどのような手続きが必要なのか知る
5	成約～当日 打ち合わせの流れ	時期に合わせた打ち合わせ内容を理解する
6	コーディネーター 会場コーディネーター テーブルコーディネーター	会場内のコーディネーターについて理解を深める
7	衣装① 衣装、ヘアメイク、着付け①	衣装、ヘアメイク、着付けについての知識を身につける
8	衣装② 衣装、ヘアメイク、着付け②	
9	フラワーアイテム 装花の手配	フラワーアイテムについて理解する 手配スケジュールについて知る
10	ペーパーアイテム ペーパーアイテムの手配	ペーパーアイテムの手配スケジュールを知る ペーパーアイテムの注意点について学ぶ
11	料理、飲物① テーブルセッティング①	料理・飲物についての知識を身につける テーブルセッティング方法について知る
12	料理、飲物② テーブルセッティング②	
13	引出物、引菓子 記録、記念アイテム	各アイテムの内容、注意点を知る 手配スケジュールについて知る
14	前期振り返り	前期の授業内容の振り返りと知識確認を行う
15	総まとめ	これまでの授業総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	ブライダル知識ⅡB		
必修選択	必修	(学則表記)	ブライダル知識ⅡB		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ブライダルヘアメイク&ドレス科	2	30
使用教材	ブライダルコーディネーターテキストスタンダード		出版社	公益社団法人日本ブライダル文化振興協会	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	現場での実践に活かせるブライダルの基礎知識・用語・業界特性を理解・習得する				
到達目標	ブライダルコーディネーター技能検定3級合格を目指す ブライダルの基礎知識、用語を理解し使いこなせるようになる				
評価基準	テスト60% 提出物30% 授業態度10%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	ブライダルコーディネーター技能検定3級				
関連科目	ブライダル知識Ⅰ パーティプロデュース・ホテルプランニング・オリジナルプランニング				
備考	原則、この科目はオンデマンド型遠隔授業形式にて実施する				
担当教員	川崎 奈津子	実務経験		○	
実務内容	ウェディングプランナーとして結婚式場にて8年間勤務した実務経験を基に、ブライダル業界にて求められる知識・技術を教授する				
習熟状況等により授業の展開が変わることがあります。					
各回の展開					
回数	単元	内容			
1	一般常識問題	一般常識問題を想定し解答する			
2	筆記問題対策①	ペアを作り、今までの問題を解く(100問ずつ)			
3	筆記問題対策②				
4	筆記問題対策③				
5	筆記問題対策④				
6	実技対策①	対策問題、予想問題を使用し問題を解く			
7	実技対策②				
8	実技対策③				
9	実技対策④				
10	模擬テスト①	対策問題を解く			
11	模擬テスト②				
12	模擬テスト③				
13	模擬テスト④				
14	検定振り返り	検定を振り返り答え合わせをする			
15	総合授業	これまでの授業総まとめを行う			

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	キャリアデザインⅡ A		
必修選択	選択	(学則表記)	キャリアデザインⅡ A		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ブライダルヘアメイク&ドレス科	1	15
使用教材	CAREER SUPPORT BOOK		出版社	なし	

科目の基礎情報②

授業のねらい	就職活動に向けて具体的な対策と社会人になるための知識を身につける				
到達目標	就職活動の流れを理解する 面接方法が実践できる				
評価基準	授業態度30% 提出物30% テスト40%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	なし				
関連科目	キャリアデザインⅡ B				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	小松 真奈美 他2名		実務経験		
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります。

各回の展開

回数	単元	内容
1	就職活動について	就職活動のルールについて理解する
2	社会で求められる人材について	社会で求められる能力を理解する 社会人としてあるべき姿について理解する
3	履歴書・ES・面接について①	グループワークを通じて自分自身のやってきたことを共有し実践する
4	就職イベントについて	就職イベントの概要を理解する
5	グループディスカッションについて	グループディスカッションの役割を理解し、実践練習を行う
6	履歴書・ES・面接について②	個人面接・WEB面接の特徴を知り、よく聞かれる質問を理解する
7	グループディスカッション①	議題を設定し、グループディスカッションの実践練習を行う
8	グループディスカッション②	
9	グループディスカッション③	
10	グループディスカッション④	
11	グループディスカッション⑤	
12	面接対策①	グループワークを通じて自分自身のやってきたことを共有し実践する
13	面接対策②	
14	面接対策③	
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	キャリアデザインⅡB		
必修選択	選択	(学則表記)	キャリアデザインⅡB		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ブライダルヘアメイク&ドレス科	1	15
使用教材	CAREER SUPPORT BOOK		出版社	なし	

科目の基礎情報②

授業のねらい	就職に向けて具体的な対策と社会人になるための知識を身につける				
到達目標	就職活動の流れを理解する 社会人に必要なマナーやスキルを理解する				
評価基準	授業態度40% 提出物30% テスト30%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	なし				
関連科目	キャリアデザインⅡA				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	小松 真奈美 他2名	実務経験			
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります。

各回の展開

回数	単元	内容
1	社会人とは	社会の一員となることを理解する
2	社員とアルバイトの求められるものの違い	社員とアルバイトの求められるものの違いを理解する
3	社会人基礎力について	社会人として求められる考え方・行動について理解する
4	社会人に求められるスキルについて①	働くにあたり、どのようなスキルが必要なのかを理解する
5	仕事の進め方	仕事の進め方について学ぶ
6	社内マナーについて	社内のマナーについて学ぶ
7	人間関係構築力について①	良い人間関係を築く為、どのように行動したらいいのかを学ぶ
8	人間関係構築力について②	
9	TODOリスト作成について	優先順位の立て方を理解し、どのように仕事を行うのかを学ぶ
10	スケジュール管理について	スケジュールに立て方、管理の仕方を学ぶ
11	年賀状の書き方について	内定を頂いている企業様へ年賀状を書く。年賀状の書き方を学ぶ
12	初期クレーム対応の仕方について①	クレームが発生する時はどのようなケースが多いのかを学ぶ
13	初期クレーム対応の仕方について②	クレーム発生時の初期対応の仕方について学ぶ
14	振り返り	ここまでの学習内容を振り返り、知識確認を行う
15	総合授業	総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	ブライダルジュエリー		
必修選択	選択	(学則表記)	ブライダルジュエリー		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ブライダルヘアメイク&ドレス科	1	15
使用教材	なし		出版社	-	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	ブライダルに関わるジュエリーの基礎知識を学ぶ				
到達目標	ブライダルジュエリーの基礎知識、業界の動向を学び、お客様に幅広い提案のできる人材を目指す				
評価基準	テスト50% プレゼンテーション30% 授業態度20%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	なし				
関連科目	なし				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	ウェレンス 孝予	実務経験		○	
実務内容	ジュエリーデザイン、制作、販売を20年間務めた実務経験を基に、ジュエリーに関する知識・技術を教授する				
習熟状況等により授業の展開が変わることがあります。					
各回の展開					
回数	単元	内容			
1	導入	ブライダルジュエリーの知識の必要性を学ぶ ブライダルジュエリーの歴史を学ぶ			
2	ブライダルジュエリー基礎①	ブライダルジュエリーの基礎知識を学ぶ			
3	ブライダルジュエリー基礎②				
4	ブライダルジュエリー基礎③				
5	ブライダルジュエリー基礎④	ブライダルジュエリーの基礎知識を学ぶ (コーディネートプレゼン①準備)			
6	ブライダルジュエリー基礎⑤	ブライダルジュエリーの基礎知識を学ぶ (コーディネートプレゼン②グループ発表)			
7	ハワイアンジュエリー	ハワイアンジュエリーの知識を学ぶ			
8	ブライダルジュエリーブランドを調べる①	ブライダルジュエリーブランドの企業研究を行う (国内ブランド)			
9	ブライダルジュエリーブランドを調べる②	ブライダルジュエリーブランドの企業研究を行う (海外ブランド)			
10	指輪のサイズ ラッピング技術	指輪のサイズの調べ方を学び、実際に各自のサイズを知る 実践で使えるラッピング技術を学ぶ			
11	ブライダルジュエリー実践	ジュエリーのメンテナンス方法を学ぶ			
12	プロポーズの提案①	商品を購入したお客様にプロポーズの提案を行う			
13	プロポーズの提案②	提案したプロポーズ方法を発表する			
14	前期振り返り	前期の授業内容の振り返りと知識確認を行う			
15	総まとめ	これまでの授業の総まとめを行う			

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ブライダルプロジェクトⅡA		
必修選択	必修	(学則表記)	ブライダルプロジェクトⅡA		
開講		単位数	時間数		
年次	2年	学科	ブライダルヘアメイク&ドレス科	1	30
使用教材	なし	出版社	-		

科目の基礎情報②

授業のねらい	挙式披露宴を施行するうえでの準備、当日の運営までを理解する				
到達目標	日頃の授業のアウトプットとして生徒のみで挙式～披露宴を創り上げる 現場に一番近い手順で進めていき、企画立案施行の全てができる				
評価基準	授業態度40% 提出物40% 振り返り20%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	なし				
関連科目	ブライダルプロジェクトⅡB・オリジナルプランニング				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	小松 真奈美 他2名	実務経験	○		
実務内容	美容部員として百貨店等にて7年間勤務した実務経験を基に、企画の立案、施行の実践方法を教授する				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります。

各回の展開

回数	単元	内容
1	導入①	動機づけ・当日までのスケジュール・各セッション説明について理解する
2	導入②	デッサンシート、構成シートの書き方について学ぶ 全体テーマ発表を理解し、チーム分けを行う
3	各チーム準備①	チーム目標立て・チームテーマ決めを行い、モデルを決定する
4	各チーム準備②	スケジュールを立て、デッサンシート作成する クラス費の使い方説明を理解し予算立てを行う
5	各チーム準備③	構成シート・デッサンシート作成を行い、ドレス・演出・BGMを決定する
6	各チーム準備④	構成シート・デッサンシート作成を行い、練習・作成（ドレスリメイク、ヘアメイク、ネイル、ブーケ等）を行う
7	各チーム準備⑤	練習・作成（ドレスリメイク、ヘアメイク、ネイル、ブーケ等）を行う
8	各チーム準備⑥	
9	各チーム準備⑦	
10	各チームリハーサル①	各チームで本番同様の流れでリハーサルを行う
11	各チームリハーサル②	
12	リハーサル	全チームで通しリハーサルを行う
13	行事本番	本番を実施する
14	振り返り	行事の振り返りを行う
15	総まとめ	これまでの授業の総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ブライダルプロジェクトⅡB		
必修選択	必修	(学則表記)	ブライダルプロジェクトⅡB		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ブライダルヘアメイク&ドレス科	1	30
使用教材	なし		出版社	-	

科目の基礎情報②

授業のねらい	日頃の授業のアウトプットとして生徒のみで挙式～披露宴を創り上げる				
到達目標	学んだ知識をもとに実践力を身に付ける 現場に一番近い手順で進めていき、企画立案施行の全てができる				
評価基準	授業態度40% 提出物40% 振り返り20%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	なし				
関連科目	ブライダルプロジェクトⅡB・オリジナルプランニング				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	小松 真奈美 他2名		実務経験	○	
実務内容	美容部員として百貨店等にて7年間勤務した実務経験を基に、企画の立案、施行の実践方法を教授する				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります。

各回の展開

回数	単元	内容
1	導入	プロジェクト・当日までのスケジュール・各セッション説明について理解する
2	目標・テーマ・各セッション決定	チーム目標立て・チームテーマ決めを行い、モデルを決定する
3	スケジュール・予算立て、デッサンシート作成	スケジュールを立て、デッサンシート作成する クラス費の使い方説明を理解し予算立てを行う
4	各セッション制作①	構成シート・デッサンシート作成を行い、ドレス・演出・BGMを決定する
5	各セッション制作②	構成シート・デッサンシート作成を行い、練習・作成（ドレスリメイク、ヘアメイク、ネイル、ブーケ等）を行う
6	各セッション制作③	練習・作成（ドレスリメイク、ヘアメイク、ネイル、ブーケ等）を行う
7	各セッション制作④	
8	各セッション制作⑤	
9	モデルウォーキング	モデルウォーキング・各セッション、動きの確認を行う
10	ショーリハーサル①	ショー通しリハーサル・タイム取り
11	ショーリハーサル②	
12	全体リハーサル①	お仕度から通しリハーサルまでを行う
13	全体リハーサル②	会場にて通しリハーサルを行う
14	振り返り	行事の振り返りを行う
15	総まとめ	これまでの授業の総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	花嫁着付けⅡA		
必修選択	選択	(学則表記)	花嫁着付けⅡA		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ブライダルヘアメイク&ドレス科	2	45
使用教材	教本・花嫁テキスト・お太鼓枕・帯板・衿芯・伊達締め(2)・腰ベルト 腰ひも(4) 仮ひも(1)・和装スリッパ(肌着)・クリップ(5点セット)・足袋		出版社	桜花出版KW	

科目の基礎情報②

授業のねらい	1年次に学んだ着付けの知識と技術を更に向上させ、ブライダル着付けのプロフェッショナルを目指す				
到達目標	花嫁3級取得				
評価基準	検定試験40% テスト30% 授業態度30%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	一般社団法人日本きもの文化連絡協議会もしくは、一般財団法人京都きもの伝承文化協会 きもの着付け資格				
関連科目	花嫁着付けⅠA・B 花嫁着付けⅡB				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	友寄 美江子 他4名	実務経験	○		
実務内容	着付け師として結婚式場にて16年間勤務した実務経験を基に、着付けに関する知識・技術を身につけると同時に花嫁着付けも習得し、ブライダルの着付けに関わる全ての技術を身につける				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります。

各回の展開

回数	単元	内容
1	花嫁着付け内容説明	デモンストレーション・小物の説明・準備の仕方・補整作りについて学ぶ
2	掛下の着せ方①	補整・長襦袢・小物の片づけ方、たたみ方について学ぶ
3	掛下の着せ方②	掛下の着せ方(衿合わせの決め方)について学ぶ
4	掛下の着せ方③	掛下の着せ方(裾の引き方)について学ぶ
5	掛下の着せ方④	掛下への文庫結びについて学ぶ
6	掛下の着せ方⑤	掛下への文庫結び・仕上げについて学ぶ
7	掛下の着せ方⑥	
8	掛下の着せ方⑦	
9	花嫁着付け3級検定について	検定試験の流れを確認する
10	花嫁着付け3級検定	掛下に文庫結び(35分)を行う
11	打掛の掛け方	お絡げ、襷取り、お膝取りの仕方について学ぶ
12	紋服	紋服の着せ方、たたみ方について学ぶ
13	留袖の総仕上げ①	留袖・二重太鼓の総仕上げについて学ぶ
14	留袖の総仕上げ②	
15	総合学習	留袖・二重太鼓の総仕上げ 婚礼着付けのまとめ・知識確認を行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	花嫁着付けⅡB		
必修選択	選択	(学則表記)	花嫁着付けⅡB		
開講					
年次	2年	学科	ブライダルヘアメイク&ドレス科	単位数	2
使用教材	教本・花嫁テキスト・お太鼓枕・帯板・衿芯・伊達締め(2)・腰ベルト・腰ひも (4) 仮ひも (1) ・和装スリッパ(肌着)・クリップ(5点セット)・足袋			出版社	桜花出版KW

科目の基礎情報②

授業のねらい	1年次に学んだ着付けの知識と技術を更に向上させ、ブライダル着付けのプロフェッショナルを目指す				
到達目標	花嫁2級取得				
評価基準	検定試験40% テスト30% 授業態度30%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	一般社団法人日本きもの文化連絡協議会もしくは、一般財団法人京都きもの伝承文化協会 きもの着付け資格				
関連科目	花嫁着付けⅠA・B 花嫁着付けⅡA				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	友寄 美江子 他4名	実務経験			○
実務内容	着付け師として結婚式場にて16年間勤務した実務経験を基に、着付けに関する知識・技術を身につけると同時に花嫁着付けも習得し、ブライダルの着付けに関わる全ての技術を身につける				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります。

各回の展開

回数	単元	内容
1	引き振袖の着せ方①	引き振袖の説明を理解する 教材・小物の準備の仕方、引き振袖の着せ方について学ぶ
2	引き振袖の着せ方②	引き振袖に末広立矢結び(三重紐の使い方)について学ぶ
3	引き振袖の着せ方③	引き振袖に末広立矢結び(羽根の取り方)について学ぶ
4	引き振袖の着せ方④	引き振袖に末広立矢結び(亀甲の作り方)について学ぶ
5	引き振袖の着せ方⑤	引き振袖に末広立矢結び(形づけ・仕上げ)について学ぶ
6	引き振袖の着せ方⑥	引き振袖 仕上げについて学ぶ
7	引き振袖の着せ方⑦	
8	花嫁着付け2級検定について	検定試験の流れを確認する
9	花嫁着付け2級検定	花嫁引き振袖に末広立矢結び(35分)を行う
10	大振袖の着せ方	大振袖～帯結びを行う
11	女袴の着せ方 卒業制作について	女袴の着付け・立居振る舞いについて学ぶ
12	着付け総復習①	着付けの総復習および練習を行う
13	着付け総復習②	
14	着付け総復習③	
15	総合学習	総まとめおよび知識確認を行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ブライダルネイルIIA		
必修選択	選択	(学則表記)	ブライダルネイルIIA		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ブライダルヘアメイク&ドレス科	2	45
使用教材	テクニカルシステム、ネイル道具一式、アート用具一式(カラー・アート用具一式・ジェルキット(中級検定用具一式)UVランプ、カラーポリッシュ、チップ、ネイル検定2級に必要な道具	出版社	日本ネイリスト協会		

科目の基礎情報②

授業のねらい	ネイルの基礎知識と技術をマスターし、その先の応用技術ができるようネイルアートの幅を広げ習得する				
到達目標	ネイルの基本的なアートができる 応用を学び、技術の幅を広げる事ができる				
評価基準	実技テスト30% 筆記テスト30% 授業態度20% 提出物20%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	公益財団法人日本ネイリスト検定試験センター JNECネイリスト技能検定 NPO法人日本ネイリスト協会 JNAジェルネイル技能検定試験				
関連科目	なし				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	本多 知子 他2名	実務経験		○	
実務内容	ネイリストとしてネイルサロンにて15年間勤務した実務経験を基に、ネイルの基礎技術の知識と技術をマスターし、その先の応用技術を教授する				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります。

各回の展開

回数	単元	内容
1	【筆記】【実技】2級検定対策①	教材の名称及び説明を理解する 【筆記】2級検定筆記対策を行う 【実技】チップラップ、カラーリングを行う
2	【筆記】【実技】2級検定対策②	【実技】2級検定対策 チップラップ～カラーリングを行う 2級検定の後半試験内容を流れて学ぶ
3	【筆記】【実技】2級検定対策③	カラーリングは2級に対応できる仕上がりを目指す
4	【筆記】【実技】2級検定対策④	【筆記】2級対策を行う
5	【筆記】【実技】2級検定対策⑤	【実技】チップラップ、カラーリング、ネイルアートを行う
6	【筆記】【実技】2級検定対策⑥	【実技】2級検定対策(第二課題 タイムトライアル)を行う
7	【筆記】【実技】2級検定対策⑦	
8	知識・技術確認①	【筆記】2級検定の内容で知識確認を行う 【実技】2級検定の内容で実技確認を行う
9	知識・技術確認②	【実技】2級検定の内容で実技確認を行う
10	ジェルネイル中級検定対策①	【筆記】中級検定筆記対策を行う 【実技】中級検定の説明を理解し、実技試験対策を行う
11	ジェルネイル中級検定対策②	【筆記】ジェル検定中級対策を行う
12	ジェルネイル中級検定対策③	【実技】実技試験対策(カラーグラデーション)を行う
13	ジェルネイル中級検定対策④	【筆記】ジェル検定中級対策を行う
14	ジェルネイル中級検定対策⑤	【実技】実技試験対策(フレンチ)を行う
15	総合学習	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ブライダルネイルⅡB		
必修選択	選択	(学則表記)	ブライダルネイルⅡB		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ブライダルヘアメイク&ドレス科	1	30
使用教材	テクニカルシステム、ネイル道具一式、アート用具一式ケア・カラー アート用具一式・ジェルキット(中級検定用具一式)UVランプ、カラーポリッシュ チップ、ネイル検定2級に必要な道具		出版社	日本ネイリスト協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	ネイルの基礎知識と技術をマスターし、その先の応用技術ができるようネイルアートの幅を広げ習得する				
到達目標	ネイルの基本的なアートができる 応用を学び、技術の幅を広げる事ができる				
評価基準	実技テスト30% 筆記テスト30% 授業態度20% 提出物20%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	公益財団法人日本ネイリスト検定試験センター JNECネイリスト技能検定 NPO法人日本ネイリスト協会 JNAジェルネイル技能検定試験				
関連科目	なし				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	本多 知子 他2名	実務経験		○	
実務内容	ネイリストとしてネイルサロンにて15年間勤務した実務経験を基に、ネイルの基礎技術の知識と技術をマスターし、その先の応用技術を教授する				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります。

各回の展開

回数	単元	内容
1	ジェルネイル中級検定対策①	【実技】 ジェルクリアスカルプチュアを行う
2	ジェルネイル中級検定対策②	
3	ジェルネイル中級検定対策③	【実技】 中級内容でタイムトライアル(第一または、第二通し)を行う
4	ジェルネイル中級検定対策④	【実技】 中級内容でタイムトライアル(第二通し)を行う
5	ジェルネイル中級検定対策⑤	
6	ジェルネイル中級検定対策⑥	
7	ジェルネイル中級検定対策⑦	
8	ジェルネイル中級検定対策⑧	【筆記】 2級検定の内容で知識確認を行う 【実技】 2級検定の内容で実技確認を行う
9	ジェルネイル中級検定対策⑨	【実技】 2級検定の内容で実技確認を行う
10	ブライダル&トレンドアート①	流行のトレンドアートについて学ぶ
11	ブライダル&トレンドアート②	
12	卒業制作	テーマに合わせた作品制作を行う
13	卒業制作	
14	卒業制作	
15	総合学習	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	ブライダルエステA		
必修選択	選択	(学則表記)	ブライダルエステA		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ブライダルヘアメイク&ドレス科	1	30
使用教材	クリエーナ化粧品 (BP科/B科/BD科2年生用 エステセット) ナースシューズ、実習着、大タオル、白タオル、コットン、消毒液		出版社	クリエーナ、マレアクリエイト、村上タオル	

科目の基礎情報②

授業のねらい	エステティックの基礎を学ぶことで将来、お客様にエステへ通う事の意義や重要性を伝える事を習得する				
到達目標	基礎になるフェイシャルエステとボディエステができる				
評価基準	筆記テスト30% 実技テスト30% 小テスト(筆記実技・課題提出含む)20% 授業態度20%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	一般社団法人 日本エステティック協会 認定フェイシャル&ボディエステティシャン				
関連科目	なし				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	山田 優子 他1名	実務経験		○	
実務内容	エステティシャンとして23年間勤務した実務経験を基に基礎的なエステティックの技術を教授する				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	エステティックとは 使用方法と説明	ベッドメイク・スチームタオル作り 化粧品配布と取扱い、一連の流れについて学ぶ
2	ボディ技術理論 生理解剖/エステティック種類	トリートメントの目的を学ぶ 皮膚の構造・エステサロンの種類・ボディカウンセリングについて学ぶ
3	マッサージ～ホットタオル拭取り①	マッサージ導入・デモを行う (下放後面、軽擦法～強擦法・揉撫法・打法・振動法、圧迫法～軽擦法)
4	マッサージ～ホットタオル拭取り②	
5	マッサージ～ホットタオル拭取り③	
6	実技確認	ご案内～マッサージ～ホットタオル～仕上げを行う
7	アロマとは 精油の基礎知識を学ぶ	精油について 精油が心身に作用する経路を知る
8	アロマセラピーの利用法 知識確認	香りのイメージを学ぶ 精油の使用法、安全の為の注意について理解する
9	腰背部マッサージ① (アロマトリートメント)	デモンストレーション・手技・拭き取りについて学ぶ
10	腰背部マッサージ② (アロマトリートメント)	復習する
11	腰背部マッサージ③ (アロマトリートメント)	
12	復習 通し練習①	腰背部マッサージ (アロマトリートメント) を行う 実技確認を行う
13	復習 通し練習② 実技確認	
14	知識確認	前期で学んだ範囲の知識確認を行う
15	総合学習	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	ブライダルエステB		
必修選択	選択	(学則表記)	ブライダルエステB		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ブライダルヘアメイク&ドレス科	1	30
使用教材	クリエーナ化粧品 (BP科/BC科2年生用 エステセット)、ナースシューズ 実習着、大タオル、白タオル、コットン、消毒液		出版社	クリエーナ、マレアクリエイト、村上タオル	

科目の基礎情報②

授業のねらい	エステティックの基礎を学ぶことで将来、お客様にエステサロンへ通う事の意義や重要性を伝えることを習得する				
到達目標	基礎になるフェイシャルエステとボディエステができる				
評価基準	筆記テスト30% 実技テスト30% 小テスト(筆記実技・課題提出含む)20% 授業態度20%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	一般社団法人 日本エステティック協会 認定フェイシャル&ボディエステティシャン				
関連科目	なし				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	山田 優子 他1名	実務経験		○	
実務内容	エステティシャンとして23年間勤務した実務経験を基に基礎的なエステティックの技術を教授する				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります。

各回の展開

回数	単元	内容
1	フェイシャル技術理論 皮膚学について	フェイシャルについて・トリートメントの目的を理解する 皮膚の構造を学ぶ
2	フェイシャルケアの流れ ポイントクレンジング	フェイシャルセッティングの流れを理解する ポイントメイククレンジング/手技練習について学ぶ
3	クレンジング～コットン・スポンジ拭取り ホットタオルふき取り	クレンジング・拭き取り/手技について学ぶ ホットタオル拭取りのための準備や方法を学ぶ
4	クレンジングから復習	ホットタオル拭き取り実践を行う
5	マッサージ～ふき取り～仕上げ①	マッサージ・ホットタオル拭き取り～仕上げを行う
6	マッサージ～ふき取り～仕上げ②	
7	クレンジング～マッサージ～ふき取り～仕上げ①	クレンジングからホットタオル拭き取り～マッサージ～ふき取り～仕上げ①
8	クレンジング～マッサージ～ふき取り～仕上げ②	
9	実技確認	後期に学んだ範囲(フェイシャル)の実技確認を行う
10	フェイシャルバック ディーブクレンジング① ピーリング	デモンストレーションより学び実践を行う 手技・拭き取りについて学ぶ
11	フェイシャルバック ディーブクレンジング② ピーリング	前回の復習・実践を行う フェイシャルバックの実技確認を行う
12	フェイシャルカウンセリング①	お客様のお肌状態・お悩みに合わせてフェイシャルバック・ディーブクレンジングの種類を提案し、技術ができる カウンセリング～ディーブクレンジング～フェイシャルバック
13	フェイシャルカウンセリング②	
14	知識確認	後期に学んだ範囲の知識確認を行う
15	総合学習	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	パソコンスキル		
必修選択	選択	(学則表記)	パソコンスキル		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ブライダルヘアメイク&ドレス科	1	30
使用教材	パソコン技能検定対策問題集3級・模擬問題集3級 30時間でマスター Word&Excel 2019or2021		出版社	株式会社コアサポート 実教出版	

科目の基礎情報②

授業のねらい	検定取得を目指し、基本的な入力方法から書類作成などパソコンの技能を習得する				
到達目標	社会人として必要とされるパソコンの基礎操作ができるようになる				
評価基準	テスト60% 課題提出20% 授業態度20%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	パソコン技能検定3級(任意)				
関連科目	なし				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	荒瀬 可純 他1名		実務経験		
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります。

各回の展開

回数	単元	内容
1	PC基礎知識	PC基礎知識、タッチタイピング、ソフト、OCの使用法、リテラシーについて理解する
2	Word入門①	Wordの基礎知識について・文字入力方法を理解する
3	Word入門②	文章入力、入力の訂正、特殊な入力方法について学ぶ
4	Word入門③	文の入力、文書の保存と読み込み、印刷、複写・削除・移動について理解する
5	Word活用	文字揃え、文字装飾、均等割り付け、フォントの変更、サイズの変更、下線・太字・斜体について理解する
6	Word応用①	表の作成・編集について理解する
7	Word応用②	表の作成・編集について練習を行う
8	文書作成①	表入りビジネス文書作成練習を行う
9	文書作成②	入力・表入りビジネス文書作成の実技確認を行う
10	Excel入門	データ入力の手順、基本的なワークシートの編集、Excel書式設定について学ぶ
11	Excel応用①	オートSUM、関数、四則演算について理解する
12	Excel応用②	グラフの作成、グラフの設定変更について理解する
13	Excel応用③	データ入力、関数、グラフの実技確認を行う
14	前期まとめ	振り返り(学科、タイピング、Word、Excel)を行う
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ビジネスメール		
必修選択	選択	(学則表記)	ビジネスメール		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ブライダルヘアメイク&ドレス科	1	30
使用教材	ビジネスを強力にバックアップする“メール・テクニック” 改訂新版ビジネスメールの書き方・送り方		出版社	株式会社あさ出版	

科目の基礎情報②

授業のねらい	ブライダル業界で必要な基本的なビジネスメールの送り方を学ぶ				
到達目標	社会人として必要とされるビジネスメールマナーを学びスムーズに業務を進めることのできるテクニックを習得する				
評価基準	テスト60% 課題提出20% 授業態度20%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	ビジネスメール実務検定試験3級				
関連科目	なし				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	田中 香 他1名	実務経験	○		
実務内容	ドレススタイリストとしてドレスサロンで3年間勤務をした実務経験を基に、ブライダル業界で必要な基本的なビジネスメールの送り方を教授する				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります。

各回の展開

回数	単元	内容
1	メール基本設定	ビジネスメールを学ぶ意義・メールアドレスの登録、設定について理解する
2	ビジネスメール導入	メールの機能を学ぶ ビジネスメール基本の構成について理解する
3	ビジネスメール実践①	現場で使用するビジネスメールの事例からメール作成を行う
4	ビジネスメール実践②	
5	ビジネスメール作成応用①	例題に基づきビジネスメールを作成、送信を行う
6	ビジネスメール作成応用②	
7	ビジネスメール作成応用③	
8	ビジネスメール作成①	オリジナルビジネスメール作成、送信を行う
9	ビジネスメール作成②	
10	メールトラブル	ビジネスメールトラブルの解決法について学ぶ
11	ビジネスメール作成③	指定のメールを作成、送信を行う
12	ビジネスメール作成④	
13	ビジネスメール応用	ビジネスメール実務検定の内容、効率的なメール作成のテクニックについて理解する
14	振り返り	ビジネスメールについての知識確認を行う
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ブライダルヘアアレンジⅢ		
必修選択	選択	(学則表記)	ブライダルヘアアレンジⅢ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ブライダルヘアメイク&ドレス科	2	45
使用教材	ヘアアレンジテキスト、ヘア道具一式、ホットカーラー、ヘアアイロン ドライヤー		出版社	三幸学園	

科目の基礎情報②

授業のねらい	1年次に身に付けた基礎技術をいかし、更にヘアアレンジの幅を広げテクニックを身につける				
到達目標	衣装・小物にあったヘアスタイルを様々なパターンで提案し短時間で仕上げるができる				
評価基準	実技テスト30% 作品採点30% 小テスト(筆記実技・課題提出含む)20% 授業態度20%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	なし				
関連科目	なし				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	黒田 彩子	実務経験	○		
実務内容	ブライダルヘアメイクとして8年間勤務した実務経験を基に、ヘアアレンジの幅を広げる技術を教授する				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります。

各回の展開

回数	単元	内容
1	ウェディングヘアについて学ぶ	ウェディングヘアについて学ぶ 流行のヘアスタイルを学ぶ
2	和装スタイル 振袖①	和装スタイルについて学ぶ (面ループ)ウィッグ
3	和装スタイル 振袖②	
4	和装スタイル 振袖③ 実技確認	
5	洋装スタイル 白ドレス①	
6	洋装スタイル 白ドレス②	洋装スタイル(白ドレス)について学ぶ (ハーフアップ)ウィッグ
7	洋装スタイル 白ドレス③ 実技確認	
8	洋装スタイル カラードレス①	
9	洋装スタイル カラードレス②	洋装スタイル(カラードレス)について学ぶ (サイドダウン)ウィッグ
10	洋装スタイル カラードレス③ 実技確認	
11	和装スタイル 留袖・訪問着①	
12	和装スタイル 留袖・訪問着②	留袖・訪問着スタイルを学び実践する (シニヨン)ウィッグ
13	和装スタイル 留袖・訪問着③ 実技確認・プロー理論①	和装スタイルの実技確認を行う プロー理論について学ぶ
14	プロー実践②	プロー実践を行う
15	総合学習	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ブライダルヘアアレンジⅣ		
必修選択	選択	(学則表記)	ブライダルヘアアレンジⅣ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ブライダルヘアメイク&ドレス科	2	45
使用教材	ヘアアレンジテキスト、ヘア道具一式、ホットカーラー、ヘアアイロン		出版社	三幸学園	

科目の基礎情報②

授業のねらい	1年次に身に付けた基礎技術をいかし、更にヘアアレンジの幅を広げテクニックを身につける				
到達目標	衣装・小物にあったヘアスタイルを様々なパターンで提案し短時間で仕上げるができる				
評価基準	実技テスト30% 作品採点30% 小テスト(筆記実技・課題提出含む)20% 授業態度20%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	なし				
関連科目	なし				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	山崎 七世	実務経験	○		
実務内容	ブライダルヘアメイクアーティストとして結婚式場にて10年間勤務した実務経験を基に、ヘアアレンジの幅を広げる技術を教授する				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります。

各回の展開

回数	単元	内容
1	カウンセリング	カウンセリングについて学ぶ
2	新日本髪について①	ブライダルヘアアレンジのⅢの復習を取り入れ、和装リエティングヘアについて学ぶ
3	新日本髪について②	
4	新日本髪について③	
5	新日本髪について④ 実技確認	
6	フリースタイル①	
7	フリースタイル②	
8	チェンジスタイル①	和装から洋装へのチェンジスタイルや、洋装から和装のチェンジスタイルなどを学ぶ
9	チェンジスタイル②	
10	チェンジスタイル③ 実技確認	
11	チェンジスタイル④	
12	チェンジスタイル⑤ 実技確認	
13	作品制作①	洋装・和装に合わせたヘアメイクアレンジを制作 2年間学んだヘアアレンジの技術を活かし、 自由にヘアアレンジを創作する
14	作品制作② 作品採点	
15	総合学習	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ブライダルメイク&フォトA		
必修選択	選択	(学則表記)	ブライダルメイク&フォトA		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ブライダルヘアメイク&ドレス科	2	45
使用教材	メイク教材一式、ヘア教材一式 電子版BRIDAL		出版社	三幸学園	

科目の基礎情報②

授業のねらい	お客様が喜ばれるフォトウェディング術を身に付ける				
到達目標	ブライダルメイクアップ検定取得 フォトウェディングの理解を深めると共に一年生で行った顔分析を踏まえてその技術を活かすことができる				
評価基準	作品制作30% 実技テスト30% 小テスト(課題提出含む)20% 授業態度20%				
認定条件	出席が掃除回数数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	日本トータルメイクアップ協会 ブライダルメイクアップ検定				
関連科目	なし				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	松浦 亜由美	実務経験	○		
実務内容	ブライダルヘアメイクとして24年間勤務した実務経験を基に、お客様に喜ばれるフォトウェディングの技術を教授する				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります。

各回の展開

回数	単元	内容
1	ブライダルメイクアップ検定対策①	ブライダル検定までのスケジュール確認を行う テーマ：ラグジュアリー イメージを理解する
2	ブライダルメイクアップ検定対策②	テーマ：クラシカル イメージを理解する
3	ブライダルメイクアップ検定対策③	ブライダルの現場でも使えるメイクパターンを使用した検定取得に向けて実践する ～8パターン&プレゼン練習～
4	ブライダルメイクアップ検定対策④	デッサンシート書きかた
5	ブライダルメイクアップ検定対策⑤	
6	ブライダルメイクアップ検定対策⑥	
7	ブライダルメイクアップ検定対策⑦	
8	ブライダルメイクアップ検定対策⑧	
9	白ドレスに合わせたヘアメイク もしくはKPフォトコンテスト①	ヘア&メイク通しで仕上げる メーカー可愛いor綺麗 ハーアップスタイル
10	白ドレスに合わせたヘアメイク もしくはKPフォトコンテスト②	ヘアメイクを通して仕上げる事により全体バランスを理解できる タイムワークを意識し、手順・流れを理解できている
11	白ドレスに合わせたヘアメイク もしくはKPフォトコンテスト③	似合わせヘア&メイク 目元→ニュアンス ソフトベールトーン、暖色系可愛いor綺麗 ニュートラルな無彩色
12	白ドレスに合わせたヘアメイク もしくはKPフォトコンテスト④	ヘアメイクを通して仕上げる事により全体バランスを理解できる タイムワークを意識し、手順・流れを理解できている
13	撮影・実技テスト (一人目)	
14	撮影・実技テスト (二人目)	相モデルでそれぞれ撮影を行う ※一人3コマ
15	総合学習	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ブライダルメイク & フォトB		
必修選択	選択	(学則表記)	ブライダルメイク & フォトB		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ブライダルヘアメイク & ドレス科	2	45
使用教材	メイク教材一式、ヘア教材一式、電子版BRIDAL		出版社	三幸学園	

科目の基礎情報②

授業のねらい	お客様が喜ばれるフォトウェディング術を身に付ける				
到達目標	フォトウェディングの理解を深めると共に一年生で行った顔分析を踏まえてその技術を活かすことができる				
評価基準	作品制作30% 実技テスト30% 小テスト(課題提出含む)20% 授業態度20%				
認定条件	出席が掃除回数分の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	なし				
関連科目	なし				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	松浦 亜由美	実務経験	○		
実務内容	ブライダルヘアメイクとして24年間勤務した実務経験を基に、お客様に喜ばれるフォトウェディングの技術を教授する				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります。

各回の展開

回数	単元	内容
1	カウンセリング術を学ぶ	カウンセリングの必要性を説明、流れ、内容、話術を説明、カウンセリングシートの記入の仕方を学ぶ
2	カウンセリング術を学ぶ	カウンセリングレクチャー後、ペアでロールプレイングを行う
3	コントアップメイク	コントアップメイクについての説明を理解する コントアップメイクの実践を行う
4	ドレスに合わせたイメージ撮影準備	カラードレスで考える モデルの雰囲気やドレスの形、色に合わせたヘアメイクの提案を学ぶ
5	ブライダルシーンに合わせた撮影準備	チャペルや、バンケット、その他撮影アングルなどを考えてトータルバランスが良くなるように撮影を考える
6	ブライダルシーンに合わせた撮影(実技テスト)	ブライダルシーンも踏まえた作品として撮影する
7	卒業制作について 卒業制作準備①	卒業制作に向けて準備を行う ※撮影スケジュールを確認
8	卒業制作準備②	
9	卒業制作準備③	
10	卒業制作撮影①	
11	卒業制作撮影②	
12	作品選び・振り返り	卒業制作の作品選び・振り返りを行う
13	卒業式ヘアメイク①	卒業式ヘアメイクについて説明・和装メイクの説明を理解する 卒業式ヘアメイクの実践を行う
14	卒業式ヘアメイク②	卒業式ヘアメイクの実践を行う
15	総合学習	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	洋装・和装メイクA			
必修選択	選択	(学則表記)	洋装・和装メイクA			
開講					単位数	時間数
年次	2年	学科	ブライダルヘアメイク&ドレス科	1	30	
使用教材	メイク道具一式、ヘア道具一式(後期) ポディージュエリー道具、和装カツラ(学校準備)		出版社	三幸学園		

科目の基礎情報②

授業のねらい	和装メイクやかつら技術を知ると共に様々なシーンを予想しながら和装・洋装メイクの提案ができるような力を身につける				
到達目標	洋装和装メイクのレポートリーを増やし、提案力を高め、結婚式の本番同様に限られた時間の中でヘアメイクのチェンジができる				
評価基準	実技テスト40% 小テスト(実技筆記・課題提出含む) 30% 授業態度30%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	なし				
関連科目	なし				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	松浦 亜由美 他1名	実務経験		○	
実務内容	ブライダルヘアメイクとして24年間勤務した実務経験を基に、和装メイクやかつら技術を教授すると共に、和装・洋装メイクを教授する				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります。

各回の展開

回数	単元	内容
1	洋装メイク・和装メイクについて	洋装メイク・和装メイクについて説明を理解する 水化粧導入を行う
2	和装花嫁のメイクのテクニック①	かつらの扱い方や付け方などを学ぶ 各名称の説明、水化粧のやり方を学ぶ
3	和装花嫁のメイクのテクニック②	かつらの扱い方や付け方などを学ぶ 水化粧のやり方を学ぶ
4	和装花嫁のメイクのテクニック③	かつらの下地のやり方や水化粧のやり方を学ぶ
5	和装花嫁のメイクのテクニック④	洋装ファンデーションでの和装メイクを実践する
6	和装花嫁のヘアのテクニック	和装花嫁のヘアのボリュームの出し方を学ぶ
7	洋装花嫁のヘアのテクニック	洋装花嫁のヘアのボリュームの出し方を学ぶ
8	シーンに合わせた洋装メイク①	ウェディングシーンのテーマを決め、そのシーンに合わせたメイクテクニックを学ぶ 洋装メイクを学び、実践する
9	シーンに合わせた洋装メイク②	屋外・ロケーションフォトのメイクを学ぶ
10	シーンに合わせた和装メイクから洋装メイクへチェンジ①	ウェディングシーンのテーマを決め、そのシーンに合わせたメイクテクニックを学ぶ 和装メイクから洋装メイクへのチェンジを学び、実践する
11	シーンに合わせた洋装メイクから和装メイクへチェンジ②	屋外・ロケーションフォトのメイクを学ぶ
12	実技確認(1人目) 知識確認	提示したウェディングシーンにあったメイク・テーマに合わせてメイクチェンジを行う
13	実技確認(2人目)	
14	ブライダル対象別マルチメイク	性別や、年齢別のヘアメイクテクニックを学ぶ ポディートラブルの隠し方、列席者メイク等を学ぶ
15	総合学習	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	洋装・和装メイクB		
必修選択	選択	(学則表記)	洋装・和装メイクB		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ブライダルヘアメイク&ドレス科	1	30
使用教材	メイク道具一式、ヘアー道具一式(後期) ボディージュエリー道具、和装カツラ(学校準備)		出版社	三幸学園	

科目の基礎情報②

授業のねらい	和装メイクやかつら技術を知ると共に様々なシーンを予想しながら和装・洋装メイクの提案ができるような力を身につける				
到達目標	洋装和装メイクのレパートリーを増やし、提案力を高める 結婚式の本番同様に限られた時間の中でヘアメイクのチェンジができる				
評価基準	卒業制作30% 実技テスト30% 小テスト(実技筆記・課題提出含む)20% 授業態度20%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	なし				
関連科目	なし				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	松浦 亜由美 他1名	実務経験	○		
実務内容	ブライダルヘアメイクとして24年間勤務した実務経験を基に、和装メイクやかつら技術を教授すると共に、和装・洋装メイクを教授する				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります。

各回の展開

回数	単元	内容
1	ボディージュエリー①	ボディメイクで身体も美しく見せるメイクを学び実践・新婦のボディージュエリーを学ぶ
2	ボディージュエリー②	ボディメイクで身体も美しく見せるメイクを学び実践する 新婦のボディージュエリーを学ぶ
3	和装色打掛 白無垢のヘアメイクテクニック①	色打掛に合わせたヘアメイクテクニックを学ぶ
4	和装色打掛 白無垢のヘアメイクテクニック②	相モデルで実践・着物を指定した上でヘアメイクを行う カウンセリングシート作成・挙式、お色直し、披露要までの流れに合わせたテクニックを学び実践
5	カウンセリング 白無垢のヘアメイクテクニック③	カウンセリングシートを作成し、希望をもとにヘアメイクを行う
6	カウンセリング 白無垢のヘアメイクテクニック④	
7	知識確認	これまで学んだカウンセリングについて知識確認を行う
8	実技確認	これまで学んだ白無垢のヘアメイクテクニックの実技確認を行う
9	新郎ヘアメイク	新郎のヘアセットについていくつかパターンを学び実践する
10	卒業制作準備	シーンを決めこれまで学んだヘアメイクテクニックを活かした卒業制作を考える
11	卒業制作撮影①	シーンを決め、そのイメージにあったヘアメイクを実践・撮影を行う メイクチェンジを行い撮影する
12	卒業制作撮影②	
13	卒業式の袴に合わせたヘアメイク①	カウンセリングを行いデザイン画を描く
14	卒業式の袴に合わせたヘアメイク②	ヘアメイクの提案をし、相モデルで行う
15	総合学習	総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	ドレススタイリングA		
必修選択	選択	(学則表記)	ドレススタイリングA		
開講					
年次	2年	学科	ブライダルヘアメイク&ドレス科	単位数	1
使用教材	The Business of Wedding Attire & Styling		出版社	全米ブライダルコンサルタント協会 (ABC協会) 日本オフィス	

科目の基礎情報②

授業のねらい	ドレスを取り扱うにあたり、必要なスキル・センス・事務作業等を習得する				
到達目標	ブライダルヘアメイク、フォトスタジオなどに就職した際に即戦力となるよう、ドレスデザインA Bで身に付けた知識を活かし、ドレスの取り扱いやコーディネートのスキルを身に付ける				
評価基準	テスト50% 実技(ロールプレイング)30% 授業態度(提出物含む)20%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	なし				
関連科目	ドレススタイリングB				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	吉羽 恵子	実務経験	○		
実務内容	ドレスコーディネーターとしてドレスサロンにて19年間勤務した実務経験を基に、ドレススタイリング等の知識・技術を教授する				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります。

各回の展開

回数	単元	内容
1	貸衣装店の業務フロー 衣装決定から搬入準備	業務の流れ、内容を知る。伝票作成から品揃え、タグの貼り付けまでの一連の流れを理解する (在庫管理の重要性・納品・請求書明細・受領書・合計請求書・領収書)
2	採寸	採寸方法を学びブライダリンナーについて知る
3	補正技術①	補正技術の基礎を学ぶ 新婦の洋装(ドレス)補正技術を学ぶ
4	補正技術②	タキシード採寸、裾上げについて学ぶ
5	衣装知識①	好きなブランド・ショップの理解を深めプレゼン・コラーージュする
6	衣装知識②	
7	プレゼンテーション	前々回・前回調べたドレスショップをコラーージュを用いてプレゼンテーションを行う
8	ディスプレイ技術①	ディスプレイのデザイン・グループワークの検討を行う
9	ディスプレイ技術②	ディスプレイのデザイン・グループワークの実践を行う
10	ディスプレイ技術③	ディスプレイのデザイン・グループワークのプレゼンを行う
11	接客技術①	全員の前でフィッティング、プレゼンの実践を行う
12	接客技術②	
13	接客技術③	
14	振り返り	ここまでの学習の振り返りを行い、知識確認を行う
15	総合学習	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	ドレススタイリングB		
必修選択	選択	(学則表記)	ドレススタイリングB		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ブライダルヘアメイク&ドレス科	1	30
使用教材	The Business of Wedding Attire & Styling		出版社	全米ブライダルコンサルタント協会 (ABC協会) 日本オフィス	

科目の基礎情報②

授業のねらい	ドレスを取り扱うにあたり、必要なスキル・センス・事務作業等を習得する				
到達目標	ブライダルヘアメイク、フォトスタジオなどに就職した際に即戦力となるよう、ドレスデザインABで身に付けた知識を活かし、ドレスの取り扱いやコーディネートスキルを身に付ける				
評価基準	テスト50% 実技(ロールプレイング)30% 授業態度(提出物含む)20%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	なし				
関連科目	ドレススタイリングA				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	吉羽 恵子	実務経験	○		
実務内容	ドレスコーディネーターとしてドレスサロンにて19年間勤務した実務経験を基に、ドレススタイリング等の知識・技術を教授する				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります。

各回の展開

回数	単元	内容
1	業務知識	メンテナンスの流れについて知る
2	衣装選択①	妊婦の花嫁様の対応方法、体形別アドバイス方法の復習を行う
3	衣装選択②	テーマに沿った衣装を提案しフィッティングの実践を行う
4	衣装選択③	
5	プレゼンテーション①	3～4週目の内容のプレゼンテーション (1人3分程度、人数によって調整)
6	新郎衣装・列席者衣装	新郎衣装案内・列席者衣装案内について学ぶ
7	新婦の洋装フィッティング①	ドレス選択からフィッティング、小物合わせまでトータルコーディネートを行う (ヘアアレンジ含む)
8	新婦の洋装フィッティング②	
9	トータルコーディネート①	
10	トータルコーディネート②	テーマに対するスタイリングを実践する
11	トータルコーディネート③	
12	ドレスコーディネート・接客ロールプレイング①	授業で学んだ内容をもとに受付対応～カウンセリング～衣装選択～小物選択の接客ロールプレイングを行う (動画を撮影し、確認させてフィードバックを行う)
13	ドレスコーディネート・接客ロールプレイング②	
14	振り返り	ここまでの学習の振り返りを行い、知識確認を行う
15	総合学習	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	ドレスカウンセリングA		
必修選択	選択	(学則表記)	ドレスカウンセリングA		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ブライダルヘアメイク&ドレス科	1	15
使用教材	なし		出版社	-	

科目の基礎情報②

授業のねらい	ドレススタイリストに必要な、カウンセリング力、トーク力を身に付ける				
到達目標	まずは接客業において必要な基礎スキルを身に付ける 幅広い年齢のお客様を自身持って対応することができる				
評価基準	テスト40% 実技試験40% 授業態度(提出物含む)20%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	なし				
関連科目	ドレスカウンセリングB				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	吉羽 恵子	実務経験	○		
実務内容	ドレスコーディネーターとしてドレスサロンにて19年間勤務した実務経験を基に、ドレスカウンセリング等の知識・技術を教授する				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります。

各回の展開

回数	単元	内容
1	カウンセリングとはなにか	接客業において必要な事・身だしなみについて知る カウンセリングとはなにか、カウンセリングの意味を知る
2	表情練習①	笑顔を中心に接客における表情練習を行う
3	表情練習②	撮影した動画を見て客観的に自分の表情を分析する
4	話し方・発声練習	お客様に好感を持っていただく為の話し方・発声方法を知る
5	お客様心理を学ぶ①	お客様の「イラッ」「モヤッ」をなくす基本の接客を学ぶ
6	お客様心理を学ぶ②	
7	敬語での会話練習①	敬語のみでお題に対してスピーチを行う
8	敬語での会話練習②	敬語のみでお題に対して会話を行う練習を行う
9	お客様心理を学ぶ③	好感度を上げる接客方法について学ぶ
10	花嫁クラス別対応方法①	花嫁クラス6種類について学ぶ
11	花嫁クラス別対応方法②	花嫁クラス別対応方法を考える
12	花嫁クラス別対応方法③	花嫁クラス別対応方法を考える
13	振り返り①	ここまでの学習の振り返りを行い、知識確認を行う
14	振り返り②	ここまでの学習の振り返りを行い、実技確認を行う
15	総合学習	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	ドレスカウンセリングB		
必修選択	選択	(学則表記)	ドレスカウンセリングB		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ブライダルヘアメイク&ドレス科	1	15
使用教材	なし	出版社	-		

科目の基礎情報②

授業のねらい	ドレススタイリストに必要な、カウンセリング力、トーク力を身に付ける				
到達目標	まずは接客業において必要な基礎スキルを身に付ける 幅広い年齢のお客様を自身持って対応することができる				
評価基準	ペーパーテスト40% 実技試験40% 授業態度(提出物含む)20%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	なし				
関連科目	ドレスカウンセリングA ドレスコーディネーターA ドレスコーディネーターB				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	吉羽 恵子	実務経験	○		
実務内容	ドレスコーディネーターとしてドレスサロンにて19年間勤務した実務経験を基に、ドレスカウンセリング等の知識・技術を教授する				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります。

各回の展開

回数	単元	内容
1	接客の基本を知る①	前期振り返りをしながら後期の導入を行う 7つの接客応対用語・気配りワード・初対面の人との話題づくりについて学ぶ
2	接客の基本を知る②	
3	カウンセリング応用①	カウンセリング、ヒアリング練習を行う 明確・不明確の答えに対するカウンセリング法について学ぶ
4	カウンセリング応用②	
5	カウンセリング応用③	
6	カウンセリング実践①	3~5週で学んだ事を実践しながら行う 実際にペアを組みカウンセリング〜クローージングまでの接客の実践を行う
7	カウンセリング実践②	
8	カウンセリング実践③	
9	カウンセリング実践④	
10	カウンセリング実践⑤	
11	カウンセリング実践⑥	
12	カウンセリング実践⑦	
13	振り返り①	ここまでの学習の振り返りを行い、知識確認を行う
14	振り返り②	ここまでの学習の振り返りを行い、実技確認を行う
15	総合学習	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	ドレスコーディネートA		
必修選択	選択	(学則表記)	ドレスコーディネートA		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ブライダルヘアメイク&ドレス科	1	30
使用教材	The Business of Wedding Attire & Styling		出版社	全米ブライダルコンサルタント協会 (ABC協会) 日本オフィス	

科目の基礎情報②

授業のねらい	ドレスフィッティングで学んだ技術を実践し、ロールプレイングを通して接客スキルを身に付ける				
到達目標	ドレスショップでの業務内容を理解し、新郎新婦様の小物を含めた洋装～和装のトータルコーディネートができる また、ロールプレイングを通してトーク力向上、衣装の扱いを理解し正しく扱う事ができる。そして現在のトレンドを理解しセンスを身につける				
評価基準	テスト50% 実技(ロールプレイング)30% 授業態度(提出物含む)20%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	なし				
関連科目	ドレスコーディネートB ドレスカウンセリングA ドレスカウンセリングB				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	吉羽 恵子	実務経験	○		
実務内容	ドレスコーディネーターとしてドレスサロンにて19年間勤務した実務経験を基に、ドレスコーディネート等の知識・技術を教授する				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります。

各回の展開

回数	単元	内容
1	貸衣装店の業務フロー 衣装決定から搬入準備	業務の流れ、内容を知る、伝票作成から品揃え、タグの貼り付けまでの一連の流れについて学ぶ (在庫管理の重要性・納品・請求書明細・受領書・合計請求書など)
2	衣装知識	自分の就職希望先、または1番好きなドレスショップやブランドを調べコラーージュする
3	衣装知識	違いを把握するため自分の就職希望先の競合するショップやブランド、または2番目に好きなショップやブランドを調べコラーージュする
4	プレゼンテーション	2～3週目で調べたドレスショップ・ブランドをコラーージュを用いてプレゼンテーションを行う
5	ディスプレイ技術	ディスプレイのデザイン・グループワーク 検討を行う
6	ディスプレイ技術	ディスプレイのデザイン・グループワーク 実践する
7	ディスプレイ技術	ディスプレイのデザイン・グループワーク プレゼンテーションを行う
8	受付対応	電話受付・来店受付対応方法について学ぶ
9	衣装選択	妊婦の対応方法、体形別アドバイス方法の復習する
10	衣装選択	アドバイス方法をもとにお題を出したのに対しドレスを選び、プレゼン発表用に内容をまとめる
11	プレゼンテーション	9～10週目の内容のプレゼンテーション (1人3分程度、人数によって調整)を行う
12	フィッティング ロールプレイング	新郎衣装案内・列席衣装案内を行う
13	受付対応ロールプレイング	受付対応のロールプレイングを行う
14	振り返り	ここまでの学習の振り返りを行い、知識確認を行う
15	総合学習	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	ドレスコーディネートB		
必修選択	選択	(学則表記)	ドレスコーディネートB		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ブライダルヘアメイク&ドレス科	1	30
使用教材	The Business of Wedding Attire & Styling		出版社	全米ブライダルコンサルタント協会 (ABC協会) 日本オフィス	

科目の基礎情報②

授業のねらい	ドレスフィッティングで学んだ技術を実践し、ロールプレイングを通して接客スキルを身に付ける				
到達目標	ドレスショップでの業務内容を理解し、新郎新婦様の小物を含めた洋装(和装)のトータルコーディネートができ、ロールプレイングを通してトーク力向上、衣装の扱いを理解し正しく扱う事ができる。そして現在のトレンドを理解しセンスを身につける				
評価基準	テスト50% 実技(ロールプレイング)30% 授業態度(提出物含む)20%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	なし				
関連科目	ドレスコーディネートA ドレスカウンセリングA ドレスカウンセリングB				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	吉羽 恵子	実務経験		○	
実務内容	ドレスコーディネーターとしてドレスサロンにて19年間勤務した実務経験を基に、ドレスコーディネート等の知識・技術を教授する				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります。

各回の展開

回数	単元	内容
1	前期の復習	前期の学習内容の復習を行う
2	新婦の洋装フィッティング①	ドレス選択からフィッティング、小物合わせまでトータルコーディネート(ヘアアレンジ込)を行う
3	新婦の洋装フィッティング②	
4	トータルコーディネート①	
5	トータルコーディネート②	タイムを計り、ドレスのトータルコーディネート実践を行う
6	ブライダルコレクションに向けてドレスコーディネート①	ブライダルプロジェクトと連動し、ドレスコーディネートを行う
7	ブライダルコレクションに向けてドレスコーディネート②	
8	ブライダルコレクションに向けてドレスコーディネート③	
9	ブライダルコレクションに向けてドレスコーディネート④	
10	ドレスコーディネート 接客ロールプレイング①	授業で学んだ内容をもとに受付対応～カウンセリング～衣装選択～小物選択の接客ロールプレイングを行う (動画を撮影し、確認させてフィードバックを行う)
11	ドレスコーディネート 接客ロールプレイング②	
12	和装コーディネート 接客ロールプレイング③	授業で学んだ内容をもとに受付対応～カウンセリング～衣装選択～小物選択の接客ロールプレイングを行う (動画を撮影し、確認させてフィードバックを行う)
13	和装コーディネート 接客ロールプレイング④	
14	後期試験	ここまでの学習の振り返りを行い、知識確認を行う
15	総合学習	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	ドレスソーイング&メンテナンスⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	ドレスソーイング&メンテナンスⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ブライダルヘアメイク&ドレス科	1	30
使用教材	The Business of Wedding Attire & Styling		出版社	全米ブライダルコンサルタント協会 (ABC協会) 日本オフィス	

科目の基礎情報②

授業のねらい	ドレスソーイング&メンテナンスⅠで取得した知識・技術を活かし、メンテナンス業務ができるまた、実際に作品作りを行う				
到達目標	衣装のメンテナンス(裁縫業務・衣装点検)の基本を理解し、ミニチュアドレス制作もしくはリメイクドレス制作において、自身でデザインした作品をオリジナルで完成させ満足いく作品を創る事ができる				
評価基準	制作物50% テスト30% 授業態度20%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	なし				
関連科目	ドレスコーディネートA ドレスコーディネートB ブライダルプロジェクトⅡA ブライダルプロジェクトⅡB				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	永井 克江	実務経験	○		
実務内容	アパレル企業にて7年間、ブライダルヘアメイクとして16年勤務した実務経験を基に、ドレスソーイングの知識・技術を教授する				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります。

各回の展開

回数	単元	内容
1	衣装点検	学校の衣装を点検する 洗濯表示について理解する
2	メンテナンス業務①	1着の衣装をメンテナンスする
3	メンテナンス業務②	
4	メンテナンス業務③	
5	メンテナンス業務④	
6	メンテナンス業務⑤	
7	ミニチュアドレスの制作 リメイクドレス制作①	ミニチュアドレス制作もしくはリメイクドレスの制作を行う
8	ミニチュアドレスの制作 リメイクドレス制作②	
9	ミニチュアドレスの制作 リメイクドレス制作③	
10	ミニチュアドレスの制作 リメイクドレス制作④	
11	ミニチュアドレスの制作 リメイクドレス制作⑤	
12	ミニチュアドレスの制作 リメイクドレス制作⑥	
13	ミニチュアドレスの制作 リメイクドレス制作⑦	
14	前期試験	ここまでの学習の振り返りを行い、知識確認を行う
15	総合学習	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	ドレスソーイング&メンテナンスⅢ		
必修選択	選択	(学則表記)	ドレスソーイング&メンテナンスⅢ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ブライダルヘアメイク&ドレス科	1	30
使用教材	The Business of Wedding Attire & Styling		出版社	全米ブライダルコンサルタント協会 (ABC協会) 日本オフィス	

科目の基礎情報②

授業のねらい	ドレスソーイング&メンテナンスⅠ、Ⅱで取得した知識・技術を活かし、メンテナンス業務ができるまた、実際に作品作りを行う				
到達目標	衣装のメンテナンス(裁縫業務・衣装点検)の基本を理解し、リメイクドレス作成など卒業制作においては自身でデザインした作品をオリジナルで完成させ満足のいく作品を完成する事ができる				
評価基準	制作物50% テスト30% 授業態度20%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	なし				
関連科目	ドレスソーイング&メンテナンスⅡ ドレスコーディネートA ドレスコーディネートB ブライダルプロジェクトⅡA ブライダルプロジェクトⅡB				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	永井 克江	実務経験	○		
実務内容	アパレル企業にて7年間、ブライダルヘアメイクとして16年勤務した実務経験を基に、ドレスソーイングの知識・技術を教授する				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります。

各回の展開

回数	単元	内容
1	前期の復習	前期の学習内容の復習を行う
2	ブライダルコレクション準備①	ブライダルプロジェクトと連動し、ドレスメンテナンスなどを行う
3	ブライダルコレクション準備②	
4	ブライダルコレクション準備③	
5	ブライダルコレクション準備④	
6	ブライダルコレクション準備⑤	
7	ブライダルコレクション準備⑥	
8	ブライダルコレクション準備⑦	
9	卒業制作①	
10	卒業制作②	
11	卒業制作③	
12	卒業制作④	
13	卒業制作⑤	
14	後期試験	ここまでの学習の振り返りを行い、知識確認を行う
15	総合学習	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ブライダルヘアメイクⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	ブライダルヘアメイクⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ブライダルヘアメイク&ドレス科	1	30
使用教材	ヘアアレンジテキスト、電子版BRIDAL、メイク道具一式、ヘアー道具一式		出版社	三幸学園	

科目の基礎情報②

授業のねらい	1年次に身に付けた基礎技術をいかし、更にアレンジ力を強化し、ヘアアレンジのレパートリーを広げる				
到達目標	衣装・小物にあったヘアスタイルを様々なパターンで提案し短時間で仕上げることができる				
評価基準	実技テスト30% 作品採点30% 小テスト(筆記実技・課題提出含む)20% 授業態度20%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	なし				
関連科目	なし				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	山崎 七世	実務経験	○		
実務内容	ブライダルヘアメイクアーティストとして結婚式場にて10年間勤務した実務経験を基に、ヘアアレンジの技術を教授する				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります。

各回の展開

回数	単元	内容
1	ヘアアイロンスタイル①	ヘアスタイルとして巻きの構成とスタイリングを考え実践する
2	ヘアアイロンスタイル②	ヘアアイロンを使い、スタイリングを行う
3	ハーフアップ①	スタイルの構成を理解し作品作りに繋げる
4	ハーフアップ②(人頭)	
5	ハーフアップ 小テスト	ヘアアイロンからヘアセットまでの時間を計る
6	面出しシニヨン①	面を綺麗に出すシニヨンの作り方を学ぶ
7	面出しシニヨン②	
8	シニヨンアレンジ①	シニヨンをベースにアレンジの仕方を学ぶ
9	シニヨンアレンジ②	
10	シニヨン 実技確認	ホットカーラーからヘアセットを時間を計る
11	洋装スタイル①	洋装スタイルの実技確認(作品採点有)を行う
12	洋装スタイル②	
13	和装スタイル①	和装スタイルの実技確認(作品採点有)を行う
14	和装スタイル②	
15	総合学習	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ブライダルヘアメイクⅢ		
必修選択	選択	(学則表記)	ブライダルヘアメイクⅢ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ブライダルヘアメイク&ドレス科	1	30
使用教材	ヘアアレンジテキスト、電子版BRIDAL、メイク道具一式、ヘアー道具一式		出版社	三幸学園	

科目の基礎情報②

授業のねらい	1年次に身に付けた基礎技術をいかし、更にアレンジ力を強化し、ヘアアレンジのレパートリーを広げる				
到達目標	衣装・小物にあったヘアスタイルを様々なパターンで提案し短時間で仕上げるができる				
評価基準	実技テスト30% 作品採点30% 小テスト(筆記実技・課題提出含む)20% 授業計画20%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	なし				
関連科目	なし				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	山崎 七世	実務経験	○		
実務内容	ブライダルヘアメイクアーティストとして結婚式場にて10年間勤務した実務経験を基に、ヘアアレンジの技術を教授する				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります。

各回の展開

回数	単元	内容
1	ヘアアレンジカウンセリング①	相モデルでカウンセリング～ヘアアレンジまで行う
2	ヘアアレンジカウンセリング②	
3	七五三のヘアアレンジ	子供用の日本髪「桃割れ」を作る
4	新日本髪①	新日本髪のスタイル構成と面の出し方を学ぶ
5	新日本髪②	
6	新日本髪③ 実技確認	新日本髪のスタイルの実技確認を行う
7	洋装スタイル①	相モデルで行う ※お客様の好みを聞きだして、身に付けたテクニックを提供できるようしっかりとカウンセリングを行って、施術をする
8	洋装スタイル②	
9	和装スタイル①	
10	和装スタイル②	
11	フリースタイル①	和装スタイルの実技確認を行う(作品採点有) 基本テクニックを駆使し和装用ヘアスタイルを作り上げる(カウンセリングから提案までを含む)
12	フリースタイル②	
13	作品創作①	洋装・和装に合わせたヘアメイクアレンジを制作する(作品採点有) 2年間学んだヘアアレンジの技術を活かし、自由にヘアアレンジを制作する
14	作品創作②	
15	総合学習	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実習	科目名	インターンシップⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	インターンシップⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ブライダルヘアメイク&ドレス科	2	60
使用教材	なし		出版社	-	

科目の基礎情報②

授業のねらい	ブライダルスタッフとして必要な社会人基礎力を身に付ける				
到達目標	社会人として必要な基礎スキルが身に付いている 相手の立場に立った物の考え方ができる 社会へ出てから必要な言葉遣いや接客マナーを実践できる				
評価基準	企業側評価75点（評価表にて採点）、学校評価25点（レポート）				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	なし				
関連科目	なし				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	高橋 絵美	実務経験	○		
実務内容	ウェディングプランナーとして結婚式場にて8年間勤務した実務経験を基に、ブライダルスタッフとして必要な社会人基礎力を教授する				

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実習	科目名	インターンシップⅢ		
必修選択	選択	(学則表記)	インターンシップⅢ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ブライダルヘアメイク&ドレス科	2	60
使用教材	なし		出版社	-	

科目の基礎情報②

授業のねらい	ブライダルスタッフとして必要な社会人基礎力を身に付ける				
到達目標	社会人として必要な基礎スキルが身に付いている 相手の立場に立った物の考え方ができる 社会へ出てから必要な言葉遣いや接客マナーを実践できる				
評価基準	企業側評価75点（評価表にて採点）、学校評価25点（レポート）				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	なし				
関連科目	なし				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	高橋 絵美	実務経験	○		
実務内容	ウェディングプランナーとして結婚式場にて8年間勤務した実務経験を基に、ブライダルスタッフとして必要な社会人基礎力を教授する				